

2018年3月期 決算説明会

2018年5月1日

 栄研化学株式会社

本日の内容

1. 2018年3月期 トピックス
2. 2018年3月期 連結経営成績
3. 2019年3月期 重点施策・連結業績予想

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。
本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

2


 栄研化学株式会社

2018年3月期 トピックス

1. オーストラリア大腸がん国家スクリーニング獲得（2018年1月開始）
2. 米国多施設共同タスクフォース（MSTF）の大腸がんスクリーニング勧告の変更（「化学法の使用を推奨しない」旨の明記、2017年7月）
3. TB-LAMP
 - ・Stop TB Partnership GDF(Global Drug Facility ※) カタログ掲載
 - ・カメルーンで採用決定・Global Fund予算獲得
4. 小型全自動遺伝子検査システム（Simprova）の装置開発概ね完了
5. 那須工場でOC、LZ試薬の増産体制確立（2017年4月）
6. 野木工場新製造棟で尿試験紙の生産ライン稼働開始(2017年9月)
7. 野木工場隣接地（約51,000㎡）の購入予約
8. 2018年3月31日を基準日として株式分割（1株を2株に分割、効力発生日2018年4月1日）

※ GDF(Global Drug Facility)は、ストップ結核パートナーシップの重要なプログラムであり、各国に高品質の医薬品と診断ツールを、入手しやすい価格で提供すること可能にするものです。

3

 栄研化学株式会社

2018年3月期 連結経営成績

4

 栄研化学株式会社

2018年3月期 連結業績総括

(単位: 百万円)

	2018年3月期					
	業績予想※1	実績	構成比	予実差異	前年 同期差異	前年 同期比
売上高	35,840	34,991	100.0%	▲848	1,716	105.2%
営業利益	3,070	3,478	9.9%	408	▲497	87.5%
経常利益	3,070	3,549	10.1%	479	▲562	86.3%
当期純利益※2	2,180	2,608	7.5%	428	▲309	89.4%

※1 期首予想、※2 親会社株主に帰属する当期純利益

【売上高】

- ・業績予想に対して848百万円の未達、海外向け便潜血検査用試薬およびLAMP試薬等の伸び悩みによる
- ・前年同期比5.2%増
(国内) 便潜血検査用試薬を中心に売上が増加
(海外) 便潜血検査用試薬およびシスメックス社向け尿検査用試薬・装置の売上が大きく増加

【営業利益】

経費の効率的な使用に努めたほか、小型全自動遺伝子検査装置の開発が概ね完了したことに伴い、研究開発費約7億円を計上したため、前年同期比12.5%減

 栄研化学株式会社

5

製品の種別別区分ごとの売上高

製品の種別別区分	2018年3月期	
	実績(百万円)	前年同期比(%)
便潜血検査用試薬 (OC)	9,085	111.5
免疫血清学的検査用試薬 (OCを除く)	10,027	101.3
尿検査用試薬	2,905	118.6
微生物検査用試薬	5,096	100.6
生化学的検査用試薬	608	99.4
器具・食品環境関連培地	2,182	99.3
遺伝子関連 (LAMP)	1,192	91.3
医療機器関連・その他 (遺伝子関連機器を除く)	3,894	108.4

 栄研化学株式会社

6

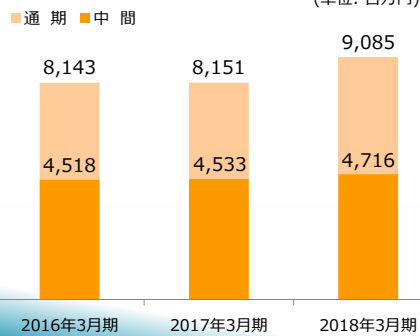
便潜血検査用試薬(OC) 売上・活動

■ OC製品発売30周年：採便容器 累積販売本数 約13億本（世界47か国採用）
第80期販売本数 約1億本

◇ 前年同期比：111.5%

(国内) 前年同期比：102.1%

- 便潜血測定装置「OCセンサーPLEDIA (プレディア)」の設置推進による新規採用拡大
- 大腸がん検診受診率アップのための啓発活動



(海外) 前年同期比：133.7%

- 米国
 - ・民間医療保険（HMO等）向け売上増加
 - ・退役軍人医療保障プログラム（VA）向け販促強化
 - ・USPSTFガイドライン、多施設共同タスクフォース（MSTF）勧告を受けた化学法から免疫法への切替促進
- 欧州
 - ・ドイツ主要検査センター向け売上増加
 - ・フランスでの受診率向上に向けた施策展開
- 中東
 - ・各国での国家スクリーニング獲得に向けた活動継続
- アジア・オセアニア
 - ・オーストラリア国家スクリーニング獲得

 栄研化学株式会社

7

免疫血清学的検査用試薬(OCを除く) 売上・活動

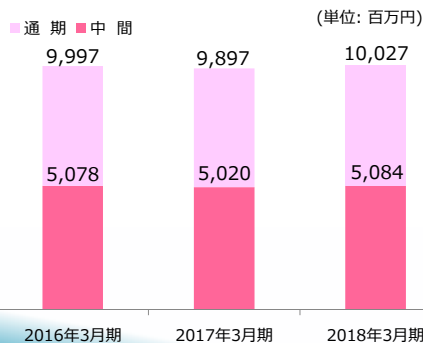
◇ 前年同期比：101.3%

(AIA関連試薬)

- 東ソー株式会社から導入しているAIA-CLシリーズの設置促進
- 他社との競争激化、前年同期比は微増

(LZ試薬)

- 胃の健康度評価(ABC分類)の普及促進、LZ試薬全体では前年同期比微増
- ヘリコバクター・ピロリ抗体検査用試薬の販売促進



 栄研化学株式会社

8

尿検査用試薬 売上・活動

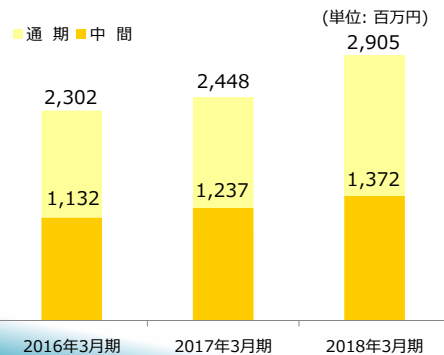
◇ 前年同期比: 118.6%

(国内)

- 全自動尿分析装置「US-3500」の新規採用・切替促進により、ウロペーパーが伸長
- 2016年8月に発売した尿自動分析装置「US-1200」の販売促進

(海外)

- シスメックス社向け尿試験紙の売上が大きく寄与



9

栄研化学株式会社

微生物検査用試薬 売上・活動

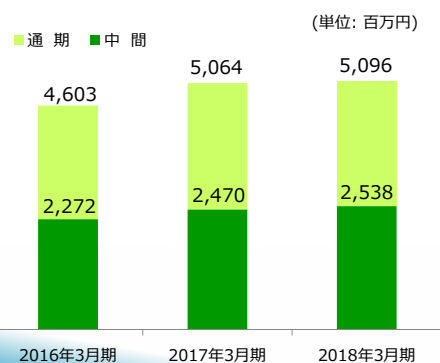
◇ 前年同期比: 100.6%

(迅速検査試薬)

- 「イムノキャッチ-レジオネラ」と「イムノキャッチ-肺炎球菌」のセットでの販売促進により売上増加

(薬剤感受性検査用試薬)

- 病院市場での微生物分類同定分析装置「MALDIバイオタイパー」と組み合わせたトータル提案での新規顧客の獲得等によりドライプレートの売上増加



(培地)

- 糞便培地検査の遺伝子検査への変更の影響を受け、生培地の売上減少



10

栄研化学株式会社

遺伝子関連(LAMP) 売上・活動

◇ 前年同期比： 91.3%

(国内)

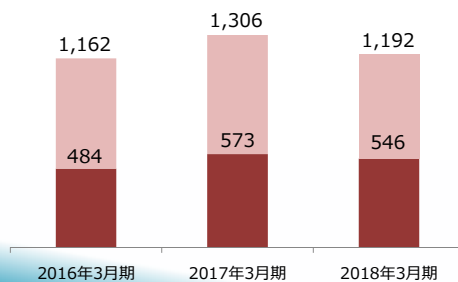
- 流行収束に伴うマイコプラズマ検出試薬の販売減等により全体として減少

(海外)

- アフリカ・アジアを中心にField Studyを推進
- TB-LAMP：GDF(Global Drug Facility) カタログ掲載、カメルーンで採用決定・Global Fund予算獲得

■ 通期 ■ 中間

(単位：百万円)



(ライセンス)

- 特許料収入： 512百万円 (前期実績： 472百万円)



11

栄研化学株式会社

海外向け売上高

売上高

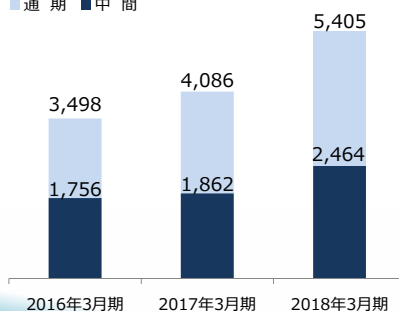
売上高(製品種類別)

◇ 前年同期比： 132.3%

- ◇ 便潜血検査用試薬(OC)： 前年同期比133.7% ⇒米国、欧州、オーストラリアで売上増加
- ◇ その他(機器を含む)： 前年同期比130.2% ⇒シスメックス社向けの尿試験紙・装置の売上が大きく寄与

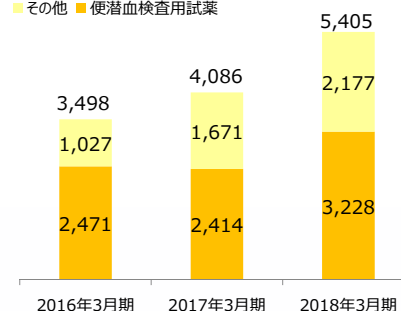
■ 通期 ■ 中間

(単位：百万円)



■ その他 ■ 便潜血検査用試薬

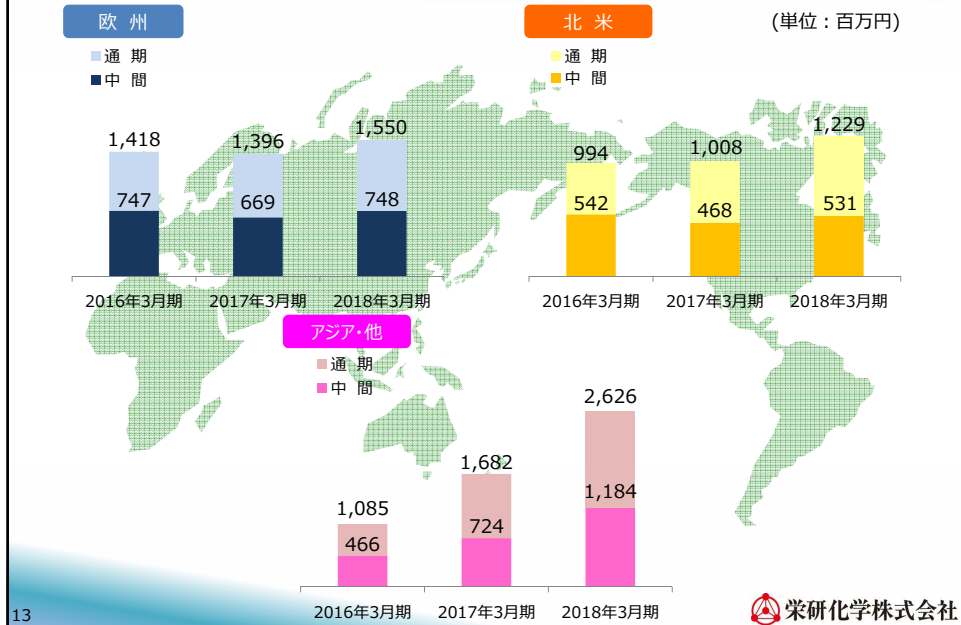
(単位：百万円)



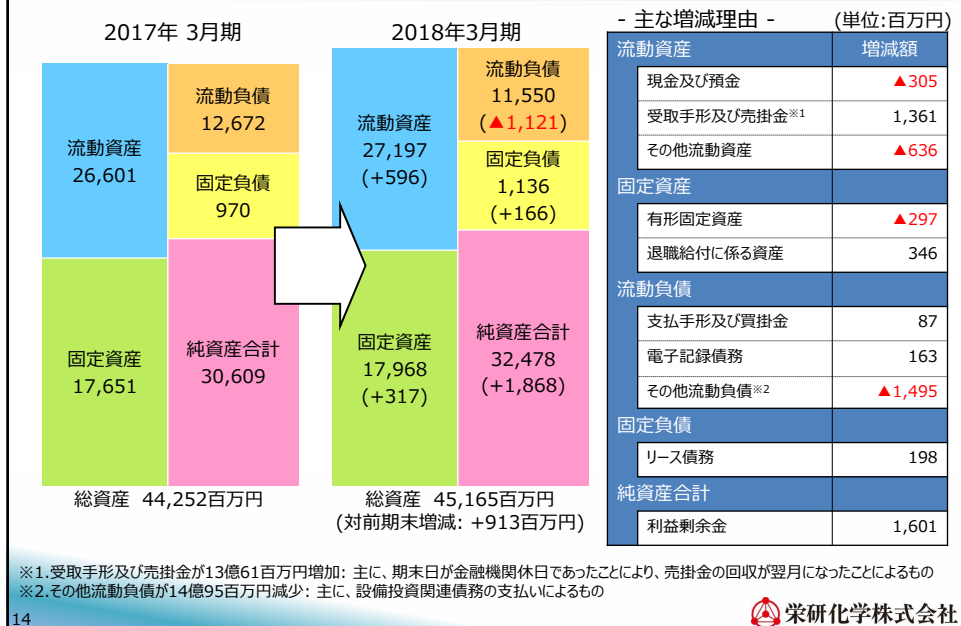
12

栄研化学株式会社

海外向け売上高(地域別)



貸借対照表(主な増減理由)



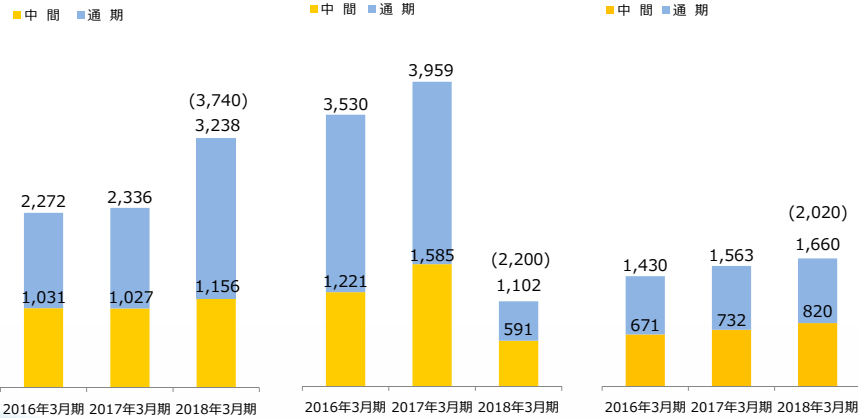
研究開発費・設備投資の推移

括弧内数字：期首予想

研究開発費(百万円)

設備投資(百万円)

減価償却費(百万円)



15

栄研化学株式会社

キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	5,074	6,984
営業活動CF	4,701	4,091
投資活動CF	▲1,876	▲3,250
財務活動CF	▲910	▲1,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲4	1
現金及び現金同等物の期末残高	6,984	6,651

主な営業活動CF	増減額(百万円)
税金等調整前当期純利益	3,474
減価償却費	1,660
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲1,360
その他流動資産の増減額 (▲は増加)	633
その他流動負債の増減額 (▲は減少)	505
法人税等の支払額	▲984

主な投資活動CF	増減額(百万円)
有形固定資産の取得による支出	▲3,128

主な財務活動CF	増減額(百万円)
配当金の支払額	▲1,007

16

栄研化学株式会社

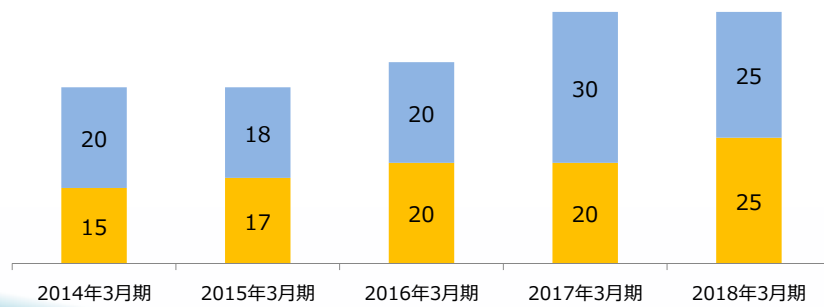
株主還元(配当金)

1株あたり配当額:50円 (中間:25円、期末:25円)

連結配当総額: 9億15百万円

連結配当性向: 35.1%

■ 期末 ■ 中間



17

 栄研化学株式会社

2019年3月期 重点施策・連結業績予想

18

 栄研化学株式会社

2019年3月期 重点施策

販売

(1)便潜血検査

- ✓ 国内での大腸がん検診普及活動による市場拡大
- ✓ 米国：USPSTFガイドライン・多施設共同タスクフォース(MSTF)勧告を受けた化学法から免疫法への切替促進、Private Brand拡大
- ✓ 欧州：ドイツでのシェア拡大に向けた販売施策強化、フランス受診率向上に向けた施策の実現、イングランド国家スクリーニング獲得に向けた取り組み
- ✓ 新規市場の獲得：中東、インド、ロシア、南米、東欧

(2) 尿検査

- ✓ 国内：尿沈査メーカーとの連携による全自動尿分析装置「US-3500」の新規獲得、尿自動分析装置「US-1200」の設置促進、A/C・P/C試験紙を用いた腎臓病早期スクリーニング・学童検診市場の構築
- ✓ 海外：シスメックス社との協業による尿試験紙・装置の売上拡大

19

 栄研化学株式会社

2019年3月期 重点施策

販売

(3) 免疫血清学的検査

- ✓ 胃の健康度検査(ABC分類)の普及推進（国内外）
- ✓ 東ソーから導入・販売している全自動化学発光酵素免疫測定装置AIA-CLシリーズの設置・新規項目の販売促進

(4) 遺伝子検査

- ✓ 国内：診療報酬改定（迅速微生物核酸同定・定量検査加算）を受けたLAMP試薬の院内導入促進
- ✓ 海外：
アフリカ・アジアを中心にField Study推進
TB-LAMP のGDF(Global Drug Facility)カタログ掲載を受けた各国での普及促進

20

 栄研化学株式会社

2019年3月期 重点施策

研究開発

- (1) 小型全自動遺伝子検査システム（Simprova）の早期上市に向け取り組み継続
- (2) 便潜血検査のOTCガイドライン発行を見据えた申請準備
- (3) イムノクロマト製品のラインアップ拡充に向けた検討
- (4) 新規バイオマーカー（がん、心血管疾患等）、新技術の探索

拠点整備・その他

- (1) IT中期計画に基づく全社IT化の推進
- (2) 人事関連制度の整備
- (3) 野木事業所拡張計画の推進

21

 栄研化学株式会社

小型全自動遺伝子検査システム

Simprova Prototype

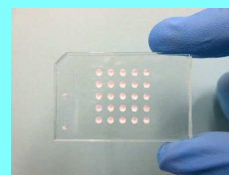


ロバスト・高精度




前処理カートリッジ

多項目同時検査



検査チップ

22

 栄研化学株式会社

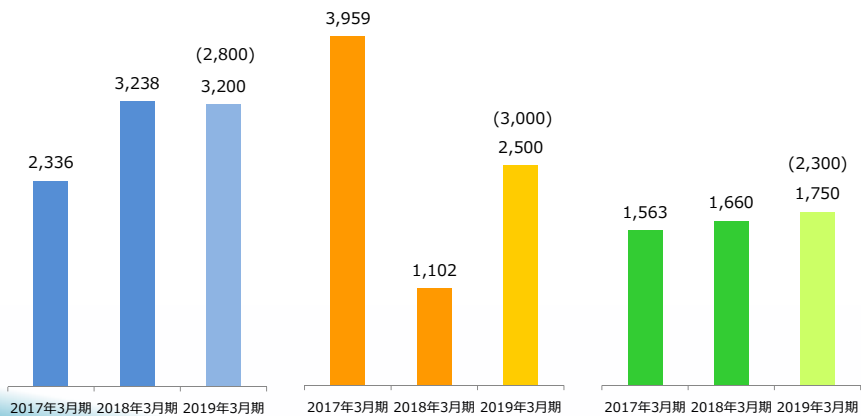
研究開発費・設備投資の計画

括弧内数字：中計

研究開発費(百万円)

設備投資(百万円)

減価償却費(百万円)



23

栄研化学株式会社

2019年3月期 連結業績予想

通期業績予想

(単位：百万円)

	連 結		
	金 額	構 成 比	対前期比
売 上 高	36,760	100.0%	105.1%
営 業 利 益	4,200	11.4%	120.7%
経 常 利 益	4,230	11.5%	119.2%
当期純利益※1	3,040	8.3%	116.5%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

配当予想 ※2

(単位：円)

	中間配当	期末配当	年 間	配当性向
	13	14	27	32.5%

※2 2018年3月31日を基準日として株式分割（1株を2株に分割、効力発生日2018年4月1日）

24

栄研化学株式会社

中期経営計画の進捗

【経営目標】

グローバル企業“EIKEN”の実現に向けた取り組みを加速し、ヘルスケアを通じて世界に貢献するとともに持続的な成長と着実な収益性の向上を目指す。

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	中計	実績	期首予想	実績	中計	業績予想※
売上高 (百万円)	33,830	33,274	35,840	34,991	37,880	36,760
海外向け売上高 (百万円)	4,760	4,086	6,520	5,405	8,120	6,870
海外向け売上比率 (%)	14.1	12.3	18.2	15.4	21.4	18.7
営業利益 (百万円)	2,710	3,976	3,070	3,478	4,700	4,200
営業利益率 (%)	8.0	12.0	8.6	9.9	12.4	11.4
ROE (%)	6.4	10.0	7.0	8.3	10.4	9.2

※中計より海外売上高を下方修正したことを主因として、売上高・営業利益の予想を引き下げ

25

 栄研化学株式会社



栄研化学株式会社

臨床検査薬の総合メーカーとして
人々の健康に貢献していきます。

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

 栄研化学株式会社